

YACから版 621

第10回飛行テスト

スターシップ

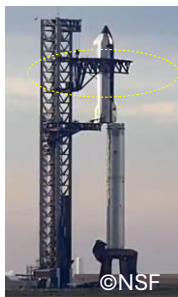
液体メタンと液体酸素を使用するラプターエンジンを、第1段のスーパーヘビーは33基搭載、第2段スターシップ宇宙船は6基（大気圏内用3基・真空用3基）搭載します。

スペースXは、8月27日（日本時）、スターシップによる第10回飛行テストを実施し、成功しました。

スターシップをベースとしたスターシップHLSはNASAのアルテミス計画の月着陸船として選定されていて、2026年以降の月面着陸が計画されています。100～150トンの「積荷」も予定されています。打上時重量は約5000トン。発射場はテキサス州ボカチカでした。

打上前

第1段の着陸回収時に第1段をつかんでいたあの構造物を使って、第1段と第2段を発射台上に組み立てて打上準備をする。



2段

1段切離し開始

発射から約38分後に、第2段エンジンの1基を宇宙空間で再点火テスト



33基のエンジン排気が美しい

33基の第1段ロケットを発射台の下から見上げる

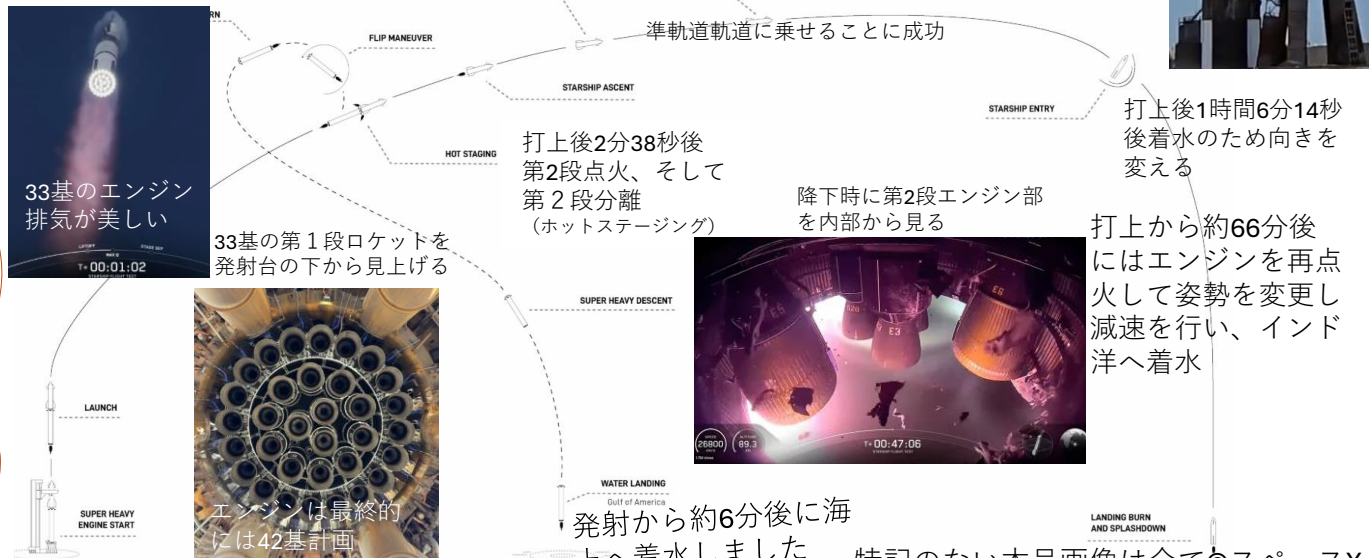


エンジンは最終的には42基計画

タイルに着目



第1段と第2段とのつなぎ目



第1段スーパーヘビーがラプターエンジン33基すべてに点火して離陸に成功

今回は発射台に戻らずに、洋上に着水。3基のエンジンでの降下着水操作時に使用エンジン内の1基を変更するテストも実施し成功

特記のない本号画像は全て©スペースX

